

オール電化システムを採用し環境負荷低減に貢献

【贈呈理由】 新設開発拠点において、大温度差水蓄熱式空調システムを導入



リコーテクノロジーセンターC棟

リコーグループは、世界5極(日、米、欧、中国、アジア・太平洋)の開発・生産体制と、約200の国と地域にまたがる販売サポー

ト網を備えた、グローバルな舞台でビジネスを行う企業グループである。同グループはかねてより、環境保全と利益創出を同時に実現する「環境経営」を掲げ、「大量消費、大量廃棄社会からの脱却」と「持続可能なビジネスモデルの創出」を目指す取り組みを続けている。

神奈川のリコーテクノロジーセンター(RTC)内に2010年8月竣工したC棟は、「知識創造・知識交流を促進する場」「快適で、働きやすく、人にやさしい場」「様々な環境に対応する環境配慮した場」「信頼と安全性を追求した場」の4つの場を同時に具現化することを建物のデザインコンセプトとしている。

環境配慮の視点からは、ダブルスキン構造や昼光照明制御などの最先端の環境設備・技術を採り入れ、CASBEE(建築環境総合性能評価システム)Sランク、

「環境・エネルギー優良建築物」最高レベルを取得している。また、大温度差水蓄熱式空調システムをはじめとした高効率な熱源を用い、カフェテリアにはエコキュートと電化厨房を導入するなど、オール電化システムを導入し環境負荷低減に貢献している。

リコーテクノロジーセンター C棟

所在地:神奈川県海老名市下今泉810
 建築設計:リコーエンジニアリング(株)
 建築施工:鹿島・大成建設共同企業体
 蓄熱設備設計:㈱梓設計
 蓄熱設備施工:新菱冷熱工業(株)
 延床面積:57,915㎡
 竣工:2010年(新設)

●蓄熱設備概要

水蓄熱式空調システム 熱源機:ターボ冷凍機
 875kW×1基(三菱重工業) 蓄熱槽:1,000㎡(冷水槽)
 エコキュート 1,800ℓ×6台(日本イトミック)